



写真提供：東京大空襲・戦災資料センター

東西冷戦終焉の後、グローバルな資本主義市場によって統一されるかのように見えた世界が再び分裂し始めています。ロシアによるウクライナ侵攻はその端的な例ですが、米中関係や朝鮮半島の政治的緊張の高まり、ミャンマーなどの軍事クーデターと権威主義的国家の勃興、そしてアフリカの終わらない内戦の拡大をみると、「戦後」という枠組みが終焉し、世界的な規模で再び「戦前」が到来しつつあるようにも感じられます。「戦争」は「災害」とならんで常にアーカイヴの対象でありつづけてきました。特に芸術はアーカイヴの手段であると同時に、積極的にその経験と記憶を伝えるメディアウムとして重要な役割を果たしてきました。本シンポジウムでは、「戦争とアーカイヴ」をテーマにアーカイヴの現在と未来を考えます。第1部では、本学で2017年からこれまで定期的に開催してきた戦没学生の音楽作品に関する取り組みをご紹介します。第2部は、現代美術や演劇、パフォーマンス・アーツによる戦争のクリエイティブ・アーカイヴの可能性についてお聞かせいただきます。

#### 開催場所

東京藝術大学上野キャンパス

国際交流棟3階 コミュニティサロン

未来創造継承センター主催 シンポジウム

10/28 (土)

12:00 - 17:00

お問い合わせ  
東京藝術大学 未来創造継承センター  
future@ml.geidai.ac.jp (担当：酒井)



# 戦争とアーカイヴ

12時から14時45分まで

## 第1部 「戦没学生は音楽で何を残したのか」

### 登壇

- 大石 泰 (東京藝術大学 元演奏芸術センター、名誉教授)
- 橋本久美子 (東京藝術大学 大学史料室 元学術研究員)
- 仲辻真帆 (東京藝術大学 大学史料室 学術研究員)
- 橋本かおる (東京藝術大学 大学史料室 学術研究員)
- 楠田健太 (東京藝術大学 演奏芸術センター 准教授)
- 司会 毛利嘉孝 (東京藝術大学 未来創造継承センター長 / 大学院国際芸術創造研究科教授)
- 酒井絵美 (東京藝術大学 未来創造継承センター 特任助教)

15時から17時まで

## 第2部 「戦争を記憶すること・記録すること」

### 登壇

- 高山 明 (演出家、東京藝術大学大学院映像研究科教授)
- 藤井光 (アーティスト)
- 司会 毛利嘉孝 (東京藝術大学 未来創造継承センター長 / 大学院国際芸術創造研究科教授)
- 平論一郎 (東京藝術大学 未来創造継承センター 准教授)

参加申込  
フォーム  
(先着50名)

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8  
アクセス | JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より、徒歩10分 / 京成線上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より、徒歩15分。駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

